



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

プロバスだより

第181号

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

2010年12月9日発行

編集・発行：情報委員会

POSITIVE AGING

2010～11年度テーマ 「遊び心・学ぶ心・奉仕の心」で、クラブは今年も進化します

第181回例会

日 時：平成 22 年 11 月 11 日(木) 13:00～14:00

場 所：夕やけ小やけふれあいの里

出席者：51 名 出席率 75%

(会員総数 68 名、休会 0 名)

1. 開会 司会 東山例会委員長

本日は、通常ならバスツアーで野外研修を行なっておりましたが、今回は夕やけ小やけふれあいの里を会場にして、研修会が開かれますが、その前に野外例会ということで開催をすることに致しました、今回は第 181 回の例会になります。

先月盛大に行ないました 15 周年記念行事がすばらしい結果に終わりました。この 181 回は 20 周年に向かつての第一歩であります。皆様も健康に十分注意して 20 周年に向けて頑張ってくださいと思います。



例会会場

2. 会長挨拶 杉山会長



今日は研修委員会の行事に合わせて、移動例会とさせていただきますが遠路お出掛けを頂き有難うございました。また、この夕やけ小やけふれあいの里の園長である荻島会員には何かと便宜を

図っていただき誠に有難うございました。

さて、皆様のお蔭をもちまして、クラブ創立

15 周年事業が、記念誌の発行を残して全て終了致しました。その記念誌もすでに印刷段階にあります。一年前を思い起こしますと、15 周年事業は、宮崎実行委員長の下で、5本の柱を立てました。①市民会館のイベント事業、②記念式典・祝賀会、③記念誌の発行、④クラブ広報パンフの製作、⑤日野プロバスクラブ設立支援であります。後ほど、宮崎実行委員長からお話しがあろうかと思いますが、事業の成果は大変大きいものがあったかと思っています。全体の事業を通じて、八王子プロバスクラブの存在が地域の中で一段とクローズアップされたのではないかと感じております。まま部分的には反省点はあるにしても、事業の完成を共に喜びたいと考えています。

それから、本日はこの例会の後には研修委員会の談論風発の会が開かれますが、どうぞこの会の趣旨にご協力を賜りますようお願い致します。有難うございました。

3. ハッピーコイン披露・バースデー報告

杉山会長から、ハッピーコインの披露(詳細:3～4頁23件)に引き続き、11月のバースデー報告が行なわれました。今月は、写真;向かって左から山崎修司、増田由明、渋谷文雄、杉山友一、東山榮、(欠席;田中美代子、近藤泰雲、石田雅巳)の8名の会員に、池田ときえ会員手作りの美しいバースデーカードが会長より贈られました。



4. 15周年記念事業報告 宮崎実行委員長

先日の10月17日の15周年記念事業は、皆様方の全員のご協力を頂き成功裏に終わりました。本当に心より御礼申し上げます。事業を行なうにあたり、どのくらいの方が来てくれるのかとか、雨が降らないかとか心配でした。しかしやって見て、来場者の数の云々ではなく、本当に八王子市、故郷へ恩返しが出来たと思います。15周年を一つの通過点として、20周年、25周年と、このプロバスクラブが立派に軌道に乗ることを、祈念致したいと思えます。



尚、来年の4月ですが、我々が今回お世話になりました、南ロータリークラブが25周年記念を行ないます。皆様方と共に、祝いたいと思えます。

5. 幹事報告 澤渡幹事



12月は例会に加えて、生涯学習サロンの予算、15周年記念事業の決算の承認を頂戴する臨時総会があります。開始時間はいつもと同じ12時30分です。例会前に20~30分、ワンコインドリンクバーを開こうと思っております。和やかに過ごせる空間をと、この様に考えております。ただしアルコールは一人一杯限りです、よろしくお願い致します。

いちょう祭りは11月20日と21日両日に行なわれます。会員の参加依頼については各委員会で行なっております。当日受付の担当をしない方も激励の意味も含めて、お顔を出して頂ければと思っております。お配りした「はちとび」ですが、参考になることが書いてあります。

6. 委員会報告

(1) 例会委員会

東山委員長



出席者51名、欠席17名で出席率75%。会員総数68名。

12月9日特記事項に書いてありますようにドリンクバーは一杯300円です。

特記事項の2番目12月例会時1月新年会会費5,000円をお忘れなくお持ち下さい。

出欠は各委員会を通じて提出お願い致します。

(2) 情報委員会

吉田委員長



今月の「プロバスだより第180号」をお届け致します。今回の編集は馬場会員です。編集が初めてと言うことですが、すばらしい出来栄です。パソコンの力をつけるには、プロバスだよりの編集をするのが一番、情報委員会に積極的にお入り頂ければと思っています。

15周年記念行事をDVD・3巻で撮影しております、情報委員会で管理させて頂きます。

(3) 会員委員会

川村委員長

特になし。

(4) 研修委員会

土井委員長



本日例会の後に、いわゆる談論風発会を行ないます。

急遽何人かの方が欠席ということで、人数がアンバランスかと思いますが例会が終わりしだい談論風発会を行って頂きます。メンバーは皆さんのご意見が充分反映されるように組んでおります。5グループとも全部同じ中身で討論していただきます。一番目は八王子プロバスクラブに何を期待するのか、どう云うクラブであって欲しいのか。二つ目はクラブの運営の仕方、運営上の問題について。三つ目は社会貢献について、です。本当に社会的に我々が役立っているのか、若い人に我われの知識や経験を伝えるということが大事かと思えます。

並行的にプロジェクト1の事業が進められておりますが、それも皆さんに良くご理解を頂きながらやっていく事になります。我々の持っている知識や経験を、対外的に発展させて行くことです。談論風発という事ですから、具体的で実現可能なお意見を出して頂きたいと思えます。談論風発の後、懇親会もあります。

(5) 地域奉仕委員会

下田委員長



皆様方のお手元に「第 15 回生涯学習サロンカリキュラムと日程」をお配りしております。今年はサロンが 3 回になりました。そして素晴らしい講師の方をお招き出来ました。まず開講式に、元 NHK

のキャスターの松平定知先生です。「その時歴史が動いた」でお馴染みですが、来年の NHK の大河ドラマに関連した「戦国武将の女性たち」という題でお話を頂きます。閉講式では、先日 NHK の TV にも出演しておられました、弁護士の中山二基子先生です。「自分らしく生きるための老いじたく」という事で“成年後見制度と遺言”という形でお話を頂きます。皆様方に快くご協力を頂きました。山野美容芸術短期大学客員教授美容研究家の公文裕子先生の、「あなたを 10 歳若くするコーディネートを楽しもう」という内容でのお話もあります。なにはともあれこういうプログラムが出来ました。これを成功裏に終了するためにも、ご協力よろしくお願い致します。

サロンの参加費は今回一般 2,500 円、プロバス会員 3,000 円です。野外サロンは、江ノ島方面を選択致しました。

(6) 交流担当 山崎理事 特にありません。

7. 同好会活動報告

- (1) お茶の会；特にありません。
- (2) ゴルフ同好会；特にありません。
- (3) 歴史の会；先日 10 月の例会の時プレアナウンスしておりました、秩父方面の歴史散策ということで第 19 回を 11 月 30 日に開催します。
- (4) 写真の会；特にありません。
- (5) 囲碁の会；2010 年秋季囲碁大会開催。(8 頁)
- (6) 麻雀クラブ；今度 11 月 16 日開催の予定です、初心者でもかまいませんのでご参加下さい。

8. その他報告

澤渡幹事より

立川会員よりの連絡です、15 周年の始めから終わりまでの場面を写した CD をお分けしております。4 枚組 3,000 円です。必要な方は幹事まで。

池田会員より

先ほど私の個展の案内状をお配り致しました。縄文の土器に関心を持ち、いろいろ好きな縄文の土器を書いて見ました、よろしくお願ひ致します。

9. 閉会の挨拶 佐々木研吾副会長



この「夕やけ小やけふれあいの里」にまいますと いつも心洗われる気持ちが致します。我が仲間の荻島会員の園長としての管理が、いかに行き届いているかという事を感じます。今日は談論風発の会という事で、今後のクラブの運営にプラスになるような忌憚のない意見を交換し合ってください。

15 周年の特別会計の決算は、12 月の例会でご報告する予定にしております。今の見通しでは若干余裕含みに決算出来ますので、今日の会に少し補助をさせていただきます。

いちよう祭りの役員として、今年も是非よろしくお願ひ致します。祭典委員会としてはプロバスクラブを非常に頼りにしております。塩澤、下田、八木、岡本、立川、広瀬各会員がそれぞれの場所で中心的に活躍しております。是非声を掛けて頂きたいと思います。又会場その他を見廻り頂いてお気づきの点があつたら遠慮なく、私なりスタッフにおっしゃって下さい。市民の手作りのお祭りを、少しでも良くしていきたいと思ひます。



◆15 周年記念事業無事成功、会員全員の協力に感謝。 宮崎浩平

◆的川先生のお話で宇宙が近くなった。感動！

・掛屋くんの歌に胸を打たれて感動！

・会館スタッフの働きに感謝！

・15 周年無事に終わりました。全部の皆様へ感謝！ 立川富美代

◆15 年同じ目標に向かって力をあわせる、その輪が明日のプロバスの原動力になる。 浅川文夫

◆創立 15 周年事業 大成功のうちに終わる事が出来ました。会員共ども大変うれしく喜び合う一

日でした。これからも先輩たちよろしくお願ひします。

宮城安子

◆1ヶ月以内、うれしい悲鳴つづきです。

10月30日四国高知で結婚式、11月13日沖縄で姪の結婚式、11月3日三男の長女のお宮参り、

11月20日七五三で次男の長女の三才のお祝いです。4つの祝い事ハッピーハッピー。飯田富美子

◆家内が健康診断 胃部レントゲンでひっかかった！すぐに精密検査⇒OK問題なし⇒胸をなでおろした。

下山邦夫

◆第56回東洋書道芸術展に出品した作品「破天荒」は、“読売新聞社賞”を戴くこととなりました。これからも、趣味の書道と共に、プロバス奉仕活動に精進して参ります。

阿部和也

◆先日偶然に羽田→バンコックANA就航一番機に搭乗することになり、記念品を頂きモデルの「押切もえ」さんと握手しハッピーでした。

野口浩平

◆正倉院展と平城京跡に行つて来ました。

高取和郎

◆私が所属する陶芸教室が11月27日(土)28日(日)に八王子「道の駅」でチャリティー頒布会を開きます、たくさんの食器など安く出品します是非ご来場下さい。

高取和郎

◆都立駒込病院で直腸癌手術をし4年経ちました。「経過良し」との医師の声に励まされ、12月9日、病院内で1時間プログラムの「クリスマス・コンサート」をすることになりました。咽喉の錆を除き、全身に油を注しての試運転です。カムバックとは言えないまでも、この歳でテノールを歌える喜びに、トレーニングの気合が入ります。

山形忠顯

◆東京プロバスクラブ15周年記念事業成功を祝す。

荒 正勝

◆10月17日の創立15周年記念行事は、会員全員の一致協力により、一つのエポックを印すことができました。さらなる発展を目指して新たなスタートを切りましょう。

佐々木研吾

◆今月、熱海一泊のプロバスクラブ囲碁大会で優勝。やはり優勝はうれしいものです。

吉田信夫

◆今年の4月、ドイツで失くしたデジカメと携帯

電話が6ヶ月振りに戻つて来ました。善良な86才のドイツ人が拾得し、何としても持ち主に返したいとの執念で落とし主を探してくれたのです。心温まる嬉しい出来事です。

岩島 寛

◆談論風発の例会を成功させよう。

竹内賢治

◆素敵なバースデイカードありがとうございました。元気をいただきました。とつてもハッピー

小林時雄

◆毎年のことながら野外の例会は天気が気になるところながら今年も晴天。めでたしめでたし

佐々木正

◆我輩の誕生日は11月23日で、戦前は新嘗祭、戦後は勤労感謝の日と、国民の祝日となつており、戦前、戦後を通して、全国でお祝いして頂き、まさに lucky birthday です。

東山 榮

◆11月3日ハンカチ王子 斉藤祐ちゃんの晴れ姿を見てきた。おじちゃん、おばちゃん、お兄ちゃん、お姉ちゃん、球場はふくれあがつて36,000人。優勝を祝つて。

澤渡 進

◆喜寿です。

山崎修司

◆10月のマージャン大会で親のスーアニコ(役満)をやり優勝しました。幸せです。

塩澤迪夫

◆クラブ創立15周年事業の成功に感謝して！！移動例会、研修委員会さんのご尽力に感謝して！

杉山友一



例会会場

談論風発会

A グループ、司会 土井 会員



- ・人間関係の融和が少しかけられているところがないか。
- ・専門的知識を持っている人ばかりではない。
- ・差別評価を捨てた世界でないといけない。

・本当の仲間作りをやって行かなければならない。

- ・飲み会で良いのではないかと言う方も相当いる。
- ・仲良しクラブの老人クラブでは消えて行く。
- ・一人ひとりが何か夢中になり追求出来る目標を探して行かないとこのクラブの発展はない。
- ・仲間との交流が楽しみを見付けて行く。
- ・例会のあり方・もう少し親しみやすくする。
- ・報告が多く例会の時間が長すぎる。
- ・社会貢献が出来ないか少子化対策の一つに、結婚まで持って行く仲立ちなど出来ないか。
- ・女性会員を増やすことが大切である。
- ・結婚を仲介する場の活動が出来ないか。

B グループ、司会 岩島 会員



- ・現在やっているがそのバランスである。クラブの親睦が大切である。
- ・女性の会員が少ない、入会条件を緩和できないか。
- ・皆に溶け込むには入会時に

例会委員会に入れてもらうのがいい。

- ・今回のような談論風発にして、日頃からの昼食会を変えることが出来ないか。
- ・事業の継続性のために委員の交代の方法を考える必要性あり。
- ・現在の卓話は中途半端である、毎月やらなくてもよいのでは。
- ・新しく委員会の委員長をやる方には古参のスタッフを付けるべきでは。
- ・委員会のなかには意見を言えない雰囲気がある、一方委員長は大変である。
- ・女性の入会の条件を考えては、条件年齢など。
- ・社会貢献に関して、学習サロンの実施日を土日祝祭日に変えたほうが人が集まる。
- ・今までの学習サロンの実績を出前制度に活用するほうが良いのでは。
- ・プラス1プロジェクトも全員が参加する精神で、皆に進行状況を早く知らせてほしい。

C グループ、司会 米林 会員



- ・Aグループにも出てました結婚仲介斡旋を提案したい。
- ・地域の町会のサポート税務相談の実施。
- ・学習サロンは固定的にすべき

ではない。曜日や場所の問題。新しい見直しも必要では。

- ・クラブの高齢化と行動の限界がある。
- ・プランはプロバスクラブでやって、実際の行動は学校とか地域でやっていただく。
- ・親睦と社会奉仕活動のバランス。
- ・古い会員と新しい会員との親睦が欠けているのではないか。
- ・新入会員のフォローを先輩が行なう事。
- ・委員役員の移動は全員が各セクションを経験する事によって成り立っているので従来通りが良い。
- ・女性会員の勧誘は前グループの様な問題がある。

D グループ、司会 渋谷 会員



- ・長期的永続性のあるコンセプトをまとめて、これを一貫した事業として取り組む。
- ・一般市民を対象としたボランティアとしての学習サロンは継続すべきであるが内容その他については再検討する必要がある。

- ・知的財産の棚卸をやっている。その結果をふまえて出前であるとか一般市民を対象としたボランティア活動を展開していくべきであろう。
- ・この会のテーマがあいまいである。
- ・もっと継続的な中心的な課題というものが、このプロバスクラブの活動の原点に在るべき。
- ・更なる自己実現とか理想の自画像を求めものをこの会の中に期待する。
- ・今日も行って良かったと言う場でなくてはならない。
- ・例会の進め方について、内容について画一的な進行ではないでしょうか。
- ・楽しいは例会ではなく同好会に求めるべきでは。

E グループ、司会 佐々木 会員



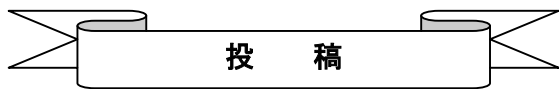
- ・ハイレベルの老人クラブ、知的刺激を授受する場、こう云う点は、まったくその通り。具体的にどのレベルでどう言った内容であるのかという点については極めて難しい。

- ・クラブに期待する事、とクラブのメンバーに期待するものは個々具体的には違う。

- ・参加するご本人がそのつもりにならないければ、ただ参加をただけでは期待してもだめ。
- ・委員会の中では委員長や役員に具体的作業の負荷が傾斜してしまう。
- ・個々それぞれの方にも分担して頂いて全体で参加できるものにならないか。
- ・全国のクラブとは難しいが、日野や多摩など近いクラブとの交流は刺激になるので積極的に進めたらどうか。
- ・クラブの運営に関しては、女性会員の増強、メンバーの適正な会員の維持など。
- ・奉仕活動については相手方との関係をいかに持つかと言う事が極めて大事である。
- ・子供さんを相手にするといってもどういう形で相手にするのかまったくつかめない。
- ・知的財産を棚卸してそれをどういう形でまとめるか。



談論風発会



伊香保温泉の旅

阿部幸子



先日伊香保温泉を訪れました。渋川からバスで「竹下夢二伊香保記念館」に行きました。とても落ち着きがあり雰囲気の良い記念館でした。夢二の生活の大部分を占めていたのは絵を描く

ことで、日本画・水彩画・油絵・パステル画等なんでも器用にこなしておられます。いずれも名品でした。

○ときの移ろいを楽しむ半襟のかずかず

○大胆で繊細な柄行の浴衣の原画

を拝見しました。とても楽しむ事が出来ました。

次に伊香保温泉街のメインストリート石段街へと向かいました。

この町のシンボル「石段街」は365段の石段と、その両側には、ホテル、旅館、土産物店が軒を連ねています。皆さん、そぞろ歩きを楽しんでいます。250段目位でしょうか、右側に位置して室町時代から続いているという温泉旅館に宿をとることにしました。案内された二階の部屋の窓に広がる雄大な風景に思わず顔を見合せながらも、お互いに無言で景色に見入ってしまいました。まさに絶景そのものです。

365段を登りきると伊香保神社があります。伊香保のシンボルとして信仰されていて、祭神は温泉・医療の神様で、富岡の貫前神社、赤城の赤城神社と共に、上野国三ノ宮として親しみのある神社です。大晦日には、甘酒も振るまわれ多くの参拝者が訪れるとのこと。前日からとても有意義な日をすごす事ができました。同行者は弟3人と私の4人姉妹です。

北方4島と尖閣諸島－33年前の訪中時を思い出しながら－

橋本鋼二



9月には尖閣諸島の中国漁船衝突事件が起き、日中関係はぎくしゃくし続けている。内陸部のあちこちで、反日デモが発生したようだが、「抗日有理、愛国無罪」で、愛国が免罪符となるのは腹立たしい。中国政府も内政問題の抗議は抑えながら、反日でガス抜きさせ、日本政府を脅し、強情っているようにさえ思えてくる。

11月1日のニュースでは、ロシアの大統領が北方領土である国後島を訪問したことを大きく伝えているのを見て、1977年8月、日中農林水産技術交流代表団7名の一員として中国を初訪問、17日間各地を訪ねVIP待遇を受けた当時を思い出した。毛沢東死去後約1年、4人組逮捕後約10ヶ月、鄧小平の復活、文化大革命終結宣言直後のことである。天安門広場や故宮が間近に見えるホテル「北京飯店」のロビーには世界各地の時間帯を示す大きな地図があり、北方4島のなかの国後島、択捉島が樺太や北千島と異なり、日本の時間帯に属するものとして表示されていた。一方、尖閣諸島は描かれていない。改めて、当時北

京で入手した『中華人民共和国分省地図集』

(1974)で確かめてみると、江西省、台湾省などを示すページに番号で位置が示され、釣魚島(日本名は魚釣島)の注記があったが、その周辺には境界線は描かれておらず、帰属は明らかでない。台湾とは与那国島の西に国境線が引かれていた。また、南シナ海で周辺国と紛争中の南沙諸島と西沙諸島に関しても、国境線を引き中国領としている。

最近のニュースでは、中・ロ両国がそれぞれ日本と領有権を争っている島の自国への帰属を認め合った由、大国の横暴なのか、日本が無策でなめられているのか。30余年、いったい何をしてきたのかと思わずにはいられない。

直葬について考える

土井俊玄



最近マスコミでしばしば取り上げられている葬儀のしかたの一つに「直葬」があります。(ちよくそう)と読むのか(じきそう)と読むのかよく分かりませんが、その中身は、「通夜も葬儀も告別

式もなく直接に死体を火葬する」というのが典型的な直葬であるようです。この直葬を形だけで見ると、宗教色が一切ないということです。仏教も神道もキリスト教もそこには関わりがないことです。第2には、死者に対する悼みも敬意も憐れみもまた追慕の情もみられないということです。実際にそういう例もあったようで、火葬が始まると帰ってしまって、その後遺骨を引き取りに来ないケースもあるといいます。そうではなく形は直葬で通夜もなく、葬儀、告別式もなく、火葬場の読経のみであったのですが、その直葬をした方は母子家庭で、つましく暮らしていた方です。ところが義理の叔父が亡くなって、だれも面倒見る人がなかったので止むなく、直葬にしたのです。その彼女が「考えると可哀想ですね！淋しかったですよね」と涙ぐんだのでした。この涙によって死者は救われたと思います。直葬と言うと死体をモノと見、遺骨をゴミ扱いする殺伐たる光景を思い浮かべてしまいがちですがこのように死を深く悼む直葬もあるようです。ところで葬儀とい

う宗教儀礼はどういう意味や意義をもっているかを調べてみました。第1に直葬に見られるように「死体処理」があります。これは味気ないようですが葬儀の重要な機能の一つであります。第2に「死者霊との関係」があります。鎮魂、慰霊、追善供養などです。第3に「死の社会的認知」という機能もあります。葬儀は通過儀礼の一つであり、命名式、初宮参り、お食い初め、誕生祝い、七五三、成人式、結婚式、そして葬儀であります。葬儀は人の死を社会的に知らせ、それによって、財産や職業、役職等の相続を社会的に納得させるものであります。

第4に「地域共同体の行事」として位置づけられてきました。しかし現代は地域共同体はほとんどなくなりつつあり、家制度もなくなっていますのでこの機能は消滅しつつあります。第5の機能として「遺族や縁者たちの悲しさや精神的苦悩と言った心の傷を癒す機能」があることを忘れてはならないと思います。このような葬儀の機能から考えると直葬は第1の機能である「死体処理」だけで終わっていると言っても過言ではありません。

それではなぜ今まだ2~3割と多くはありますが直葬は増えつつあるのでしょうか。少しばかりの単純な理由でなくその原因は多々あると思いますが、一つには生活保護世帯の急増に象徴されるように貧困家庭の急増があります。また普通のサラリーマンであっても高齢化による年若い両親の入院や看護で支出が重なって費用のかかる葬儀は出来ないという場合もあります。

『葬式は要らない』の著者、島田裕己氏は著書の中で次のように述べています。「日本人の葬儀費用は平均231万円、これはイギリスの12万円、韓国の37万円と比較して格段に高い。浪費の国アメリカでさえ44万円だ」。この本の中には、葬祭業者に対する批判もありますが高額な戒名料に対する僧侶への批判、不信が一般の人から多いという事も書かれてあります。これに対しては心ある僧侶は反省はしています。しかし、私の訴えたいことは、直葬は決定的に欠けているものがあるということです。それは先にも述べましたが、死者と生者との「人間的」な関わりと心の交流が

極めて薄いのです。現代の直葬が本当に死者の死を悼む心がないのならば、いかんともしがたいことで費用のかからない死体、遺骨処理の直葬をどうぞと言うしかありません。けれども長い人生を生き抜いてきた一個の人格の死にそれなりの敬意と痛みの心がなくなってしまったという現実、少数とはいえ大変悲しいことのように思います。

編集部注 最近話題の直葬についての提言をいただきました。

少し考えてみたい事柄です。

つぶやき

- 当プロバスクラブ 15 周年記念事業成功裏を祈ってホッチキスで一日 1 人約 1,000 枚 (針) チラシ作り全員で合計 17,000 枚 (針)、けんしょう炎になりそうになりながら頑張ったが、入場者 1,000 人に若干足りなかったのが残念。(HO)
- 歳をとって、早々と支えられる分子の気分になると「やってくれない」、「してくれない」など、とかく周囲への不平や不満が募るもの、なにくそ俺は支える側の分母でいたい。そう、やせ我慢でも POSITIVE AGING。(TS)

2010 年秋季囲碁大会開催

囲碁同好会では、例年春と秋に大会を行っています。今年の秋の大会は、11 月 5、6 日熱海ニューフジヤホテルまで出か



けて、1 泊 2 日の囲碁三昧でした。参加者は 11 名、例年は総当たりリーグ戦ですが、今年は時間の都合上、予選リーグと決勝トーナメント方式で行いました。優勝は吉田信夫会員、準優勝は馬場征彦会員でした。

夕食は大きなショウホールでバイキング、その後は囲碁でも無料のカラオケでも楽しめ、もちろ

ん温泉を堪能して、結構な一夜でした。

囲碁クラブでは、例会は第 1 と第 3 金曜日に、台町市民センターで午後 1 時からやっています。どなたでもふるってご参加ください。初心者にも手ほどきします。

いちよう祭り

秋晴れの 11 月 20 日 (土)、21 日 (日) の両日、追分から、小仏の関まで、いちよう祭りが賑やかに開かれました。天候に恵まれ、噂では 30 万人もの人が集まったのでは、という声も聞かれました。プロバスクラブからも、相当数が参加、浅川をはさんだ陵南公園本園と分園に設けられたいちよう祭り本部テントにて、来場者のお相手をいたしました。会場の催しや出店場所の問い合わせは勿論のこと、落とし物や 2 人の迷子のお相手、トイレの水が出にくい、トイレが少ない等、色々な経験をしました。落とし物では、小学 1~2 年生と思われる子供が 12 円拾いましたという届やカードの入ったお財布、現金 2 千円、携帯等、落とし物にもさまざまでした。常ににこやかに、来場者が楽しくをモットーにと心がけた 2 日間でした。



式典



編集後記：

「夕やけ小やけふれあいの里」を借りての、年に 1 回の野外例会、バスでの移動・例会・談論風発の会・懇親会 (人数が定まらなかったり) と、それぞれの案内から手配まで、例会委員会の皆様お疲れ様でした。又荻島園長有り難う御座ました。

編集委員 宮田正実